

一して5回を無料に実施する方向で、関係医療機関などの調整をしている。

◆駐車スペースの確保を

問 厚生労働省は妊産婦の方
にやさしい環境づくりを推進
しているが、市の公共施設の
駐車場に、妊婦さんが優先し
て使えるスペースを確保でき
ないか。(山口)

答 妊産婦の方に優しいまち
づくりを進めたい。安全で便
利な駐車方法について検討し
ていく。

◆CAPプログラムの拡大を

問 子供への暴力防止策、C
AP(キヤップ)プログラムの
今後の実施予定はどうか。
(山口)

答 平成19年度は小学校4校
で、18年度と合せ全校で実施
する予定。

また、大人プログラムを実
施し、より多くの市民の方々
に啓発し、意識を高めていき
たい。

公有財産の
より有効な
活用を



◆公有財産の処分について

問 広丘駅北土地区画整理地

を処分して、基金の充実に図
ってはどうか。(永井)

答 現段階では、この土地を
市で利用する計画は無い。今
回、ある金融機関から話もあ
り、地域住民の利便性や活性
化等、条件が整えば売却して
いきたい。売却金の使途につ
いては、今後検討してまいり
ます。

◆新しい入札制度の内容は

問 7月から簡易型一般競争
入札方式が導入されるが、新
客観点数や対象とする工金額
の一部見直しができないか。
(仮称)ふれあいセンター・
洗馬児童館建設主体工事の入
札結果は、異常事態と考える
が問題はないか。(永井)

答 新客観点数は、地域経済
を担う地元業者の受注機会
の拡大を考え50点とし、工金額
の200万円以上を対象としたの
は、小規模業者の入札参加に
よる受注機会の拡大に配慮し
たものであるが、今後の状況
を見ながら必要に応じて、見
直しをしてまいります。工事
の指名競争入札結果について
は、23社を指名して6月7日
に再入札を行い、3社が応札
2社が辞退したが、競争性は
保たれ問題ないと考えている。

白紙となった
柿沢苗圃
跡地の今後は



◆市民利用を考えた計画を

問 8畝の苗圃跡地は国土
利用塩尻市計画「自然と共生
複合利用エリア」に沿い市民
が利用できる使い方を。(鈴木)

答 「計画」に沿い、市民の
声を聞きながら検討していく
◆値上げでなく繰入れを

問 下水道会計での償還金の
財源不足は、償還のピークに
むけ、毎年の一般会計からの
繰入額を増やすことで使用料
値上げは避けられる。(鈴木)

答 下水道維持管理は使用料
収入で行うことが基本であり、
繰入額は増やせない。

◆不安定雇用対策を

問 企業誘致だけでは雇用対
策にはならない。不安定雇用
対策の前進を。(鈴木)

答 企業相談員が相談時など
にはたらきかけている。成人
式の写真送付時に労働法制に
関する資料を作成し同封した。
◆雇用対策は

問 雇用の場の確保政策と就
職対策としての職業相談の状
況は。(古畑)

答 企業誘致に積極的に取り
組み、新たな産業団地の整備
に向けて検討している。

市地域職業相談室は相談員
を4月から1人増やし4人で
就職相談を行っている。

◆農業支援策について

問 農業者への経営安定対策
は。(古畑)

答 畑地かんがい施設や農道
の整備、果樹棚の設置、共同
利用機械の導入や野菜価格安
定基金への積立金に対する補
助等を実施している。

◆共同利用機械の導入に伴
う補助金の増額を要望する。

問 駅に駐車場の確保を

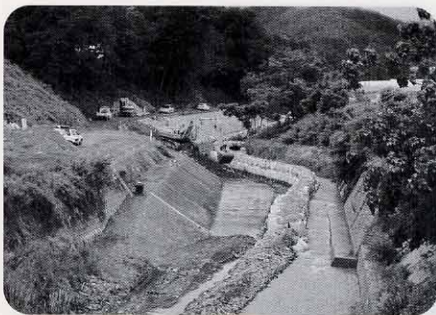
問 塩尻駅前パークアランド
ライド用駐車場の設置を。
(古畑)

答 駅周辺の空地の活用、市
営駐車場の利用状況、駅周辺
の整備開発、JRなどとの関
係を踏まえ検討する。

◆災害に強い河川に

問 小曾部川の河川復旧の現
状と今後災害が起きにくい対
策について。(古畑)

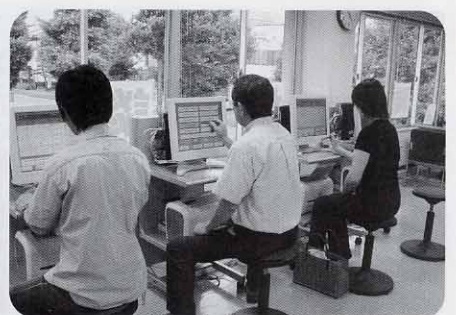
答 復旧工事は、概ね今年の
8月中に完了予定と聞してい
る。今後の災害防止対策とし
て河床低下による既設護岸の
損壊防止のため根固工や床固
工の実施を要請している。



護岸工事の進む小曾部川



電波研究施設への貸し出しが
白紙となった柿沢苗圃跡地



市地域職業相談室
(市役所北庁舎 2階)